

# 授 業 計 画

No.1

授業科目	都市計画		担当教員	川名 和雄	クラス	建築設計科2年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	この科目は、2級建築士の学科 I 計画の一分野である都市計画の基礎知識を学習する。具体的には住宅地計画、交通計画、まちづくりのための制度等、都市計画の理論等を学習する。また、都市空間をかたち作る主要な構成要素について基本的な用語の意味を理解するとともに、海外の街並みや都市のアクティビティについて学ぶ。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	60 %	課題	30 %	他	10 %
教科書	なし	副教材および参考文献			空間体験・空間学辞典 人間の街 公共空間のデザイン オリジナルプリント		

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス	学習内容、日程、評価、都市計画とは
第2回	住宅地計画・交通計画	近隣住区理論、住宅地の計画単位、地区、トパーン方式等
第3回	まちづくりのための制度等	高度地区、高度利用地区、景観地区、総合設計制度等
第4回	都市計画の理論等	パリ改造計画、広場の造形、明日の田園都市、明日の都市等
第5回	世界の都市	ドバイ等
第6回	都市空間（街路）	シャンゼリゼ、ガレリア、ヴェネツィア、フェズ等
第7回	都市空間（広場）	カンポ広場、サンマルコ広場、カンピドリオ広場等
第8回	都市空間（集落・塔）	カッパドキア、サントリーニ、サグラダファミリア、エッフェル塔等
第9回	世界の都市	シンガポール等
第10回	人間の街	公共空間のデザイン
第11回	まず私たちが街をつくる	都市の交通
第12回	出会いの場所としての街	都市のアクティビティ
第13回	持続可能な街	都市空間と社会的持続性
第14回	目の高さの街	時を過ごすのに適した街とは
第15回	期末試験対策	都市計画学習範囲総復習
第16回	期末試験	期末試験の実施

# 授 業 計 画

No.1

授業科目	建築環境工学		担当教員	木村 裕安	クラス	建築設計科2年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	この科目は、2級建築士試験学科 I 計画の環境工学の分野にあたる。具体的に室内環境、換気、伝熱・結露、日照・日射・採光、色彩、及び音響など建築の分野で大きな問題となりうる各項目の為、画像や映像の他になるべく身近な具体例をあげるなどの工夫をして授業を進めていく。また後期授業期間内に行われる2級施工管理技士試験の第1・2章の範囲も集中して行う。最終的には2級建築士学科試験学科 I の基礎力を養成する。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	50 %	課題	30 %	他	20 %
教科書	やさしい建築環境(学芸出版社)		副教材および参考文献		2級建築士学科新体系テキスト(TAC) 2級建築施工管理技士即戦問題集		

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス、施工管理技士検定の学科	前期の振り返りと施工管理技士との繋がり。換気、日射、採光、伝熱
第2回	結露、色彩、音響	結露現象&防止対策、色彩の表示&心理効果、音の透過、吸音、遮音
第3回	空気調和・給排水設備	単一ダクト、二重ダクト、ファンコイルユニット、屋内・屋外排水
第4回	電気・防災設備	電気設備用語・記号組合せ、非常用設備、避難口
第5回	地球環境-1	地球温暖化、オゾン層の破壊、環境影響の評価基準
第6回	地球環境-2	省エネルギー手法・省エネルギー基準
第7回	室内環境復習1	温熱要素・空気線図(湿り空気線図)
第8回	室内環境復習2	結露・空気汚染物質・シックハウス
第9回	換気 1	自然換気・機械換気
第10回	換気 2・伝熱 1	必要換気量(換気計算)・熱伝導率
第11回	伝熱 2	熱貫流率・伝熱計算
第12回	日照・日射・採光 (1)	太陽高度・日影・日射量(日変化・終日日射量)
第13回	音響 1	音の特性・デシベル数
第14回	音響 2	吸音・遮音
第15回	後期期末試験対策	期末試験の範囲確認、期末試験の過去問題演習
第16回	期末試験	期末試験の実施

# 授 業 計 画

No.1

授業科目	建築法規 I		担当教員	川名 和雄	クラス	建築設計科2年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	この科目は、建物を計画する上で法規(特に建築基準法)を守らなければ設計できないことを理解する。その手段として、過去問題を通して、問題文と条文との関わりや、問題文と実際の建物との関わり等を説明し、建築基準法の理解を深め、実践的な法規の知識を学習する。 (建築法規IVは特に集団規定を中心に学習する。)						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	60 %	課題	30 %	他	10 %
教科書	図解 やさしい建築法規 学芸出版 建築関係法令集			副教材および 参考文献		2級建築士学科Ⅱ 建築法規テキスト I TC出版局 プリント	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス、内装制限(問33)	学科Ⅱ 概要、内装制限の目的、制限を受ける建物等
第2回	内装制限による仕上げ(問34)	制限を受ける建物の仕上げ、防火材料の種類と仕様
第3回	避難施設Ⅰ(問35)	避難施設概要、2方向避難の確保を必要とする建物
第4回	避難施設Ⅱ(問36)	排煙設備を必要とする建築物とその設備の仕様
第5回	避難施設Ⅲ(問37)	色々の避難施設を必要とする建築物とその設備の仕様
第6回	道路の定義(問38)	建築基準法上道路として扱われるものとはどういうものか?
第7回	道路内の建築制限(問39)	建築基準法上道路、道路上の建築制限
第8回	用途地域制限	用途地域制限の概要、別表2の見方・特徴
第9回	第1種低層住居専用地域(問40)	住居系で一番厳しい地域の建物上の用途制限
第10回	色々な地域の建築制限(問41)	色々な用途地域による建築物の用途制限(特に別表2の見方)
第11回	2以上の地域内の用途制限(問42)	敷地が2以上の用途地域にわたる場合の用途制限
第12回	容積率制限概要	面積算定の総復習、容積率・許容容積の算定方法等
第13回	2以上の地域内の容積率制限(問43)	2以上の地域内の容積率制限前面道路が狭い場合(12m未満)の許容容積率の算定
第14回	2以上の道路のある容積率制限(問44)	前面道路が狭い場合(12m未満)の許容容積率の算定方法
第15回	総復習	内装制限、避難施設、道路、用途地域、容積率、建ぺい率、高さ制限、防火制限等
第16回	期末試験	後期分の内容の理解度を試験

# 授 業 計 画

No.1

授業科目	建築材料		担当教員	宍倉 良太	クラス	建築設計科2年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	1年次の建築材料 I では一般構造 I、II で学習した木材、コンクリート、鋼材、いわゆる建築構造のメイン材料についての特性を学習した。この授業では焼成品、ガラス、石などの仕上げ材や細部に使用される部材の特性について学習していき、建物の各仕様を決定する上での必要な知識となる。また、前半は2級施工管理技士学科試験対策として材料、一般構造などの過去問題の学習を行い合格を目指す。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	70 %	課題	20 %	他	10 %
教科書	やさしい建築材料・2級施工管理技士即戦問題集			副教材および参考文献		参考画像、プリント類	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス、2級施工管理技士対策(1)	「建築材料」 1
第2回	2級施工管理技士対策(2)	「建築材料」 2
第3回	2級施工管理技士対策(3)	「材料」、「舗装、積算等」
第4回	2級施工管理技士対策(4)	「一般構造」 1
第5回	2級施工管理技士対策(5)	「一般構造」 2
第6回	焼成品(1)	タイル・レンガ
第7回	焼成品(2)	瓦・衛生陶器 「ガラスと石」 ガラスとは
第8回	ガラスと石(1)	ガラスの特徴
第9回	ガラスと石(2)	石材とは 石の分類
第10回	左官材料・ボード類(1)	左官とは 特徴、近年の左官仕事、種類
第11回	左官材料・ボード類(2)その他の材料(1)	ボード類、プラスチック材料
第12回	その他の材料(2)	プラスチック材料、塗料
第13回	部位別・性能別材料(1)	床仕上材、壁仕上材、天井仕上材
第14回	部位別・性能別材料(2)	防水材料、防火材料、耐火材料、断熱材料、防音吸音材
第15回	総復習	テスト説明、重点箇所おさらい
第16回	期末試験	期末試験の実施

# 授 業 計 画

No.1

授業科目	建築施工		担当教員	加藤 貴久	クラス	建築設計科2年	
期別	後期	履修コマ数	2 コマ/週	授業形態	講義	単位数	4

授業概要	この科目は、前半は2級建築施工管理技術検定合格のための検定対策授業とする。後半は将来2級建築士に合格するために、過去問題集を主体とした授業を行う。2年間学んだ建築施工学の集大成として、より専門性を深めた現場用語・特殊工法等を学習する。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	100 %	課題	0 %	他	0 %
教科書	2級建築施工管理技士 即戦問題集 ITCテキスト 建築施工			副教材および参考文献		配布プリント及びスライド	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	共通範囲	舗装工事 植栽工事 設計図書 測量 積算
第2回	施工計画	事前調査 仮設計画 材料の保管 建築工事の届出
第3回	工程管理 ネットワーク工程表	工程計画 ネットワーク工程表の計算
第4回	工程管理 ネットワーク工程表	ネットワーク工程表の計算 工程用語
第5回	品質管理	試験・検査 品管図表・用語
第6回	安全管理	安全管理体制 足場・支保工の安全管理 作業主任者
第7回	地盤調査 仮設工事	標準貫入試験 平板載荷試験 仮設全般
第8回	地業 土工事	杭地業 砂利地業 山留め工事 排水工法
第9回	鉄筋コンクリート工事	鉄筋工事 型枠工事 コンクリート工事
第10回	鉄筋コンクリート工事	鉄筋工事 型枠工事 コンクリート工事
第11回	特殊コンクリート 鉄骨工事	外壁工事 コンクリートブロック工事 高力ボルト 鉄骨建方
第12回	木工事 防水工事	在来軸組構法 メンブレン防水工事 シーリング
第13回	石工事 タイル工事 屋根工事	張り石工事 タイル張り工法 屋根葺き工事 樋工事
第14回	金属工事 左官工事	LGS工事 金属表面仕上げ セメントモルタル塗り
第15回	建具工事 塗装工事	建具金物 金属製建具 ガラス工事 塗料 素地ごしらえ
第16回	内外装工事 建設機械	床・壁・天井仕上工事 断熱工事 施工機械・器具

	講義計画	実施細目
第17回	ガイダンス、試験概要等、(RC造)	科目概要、試験概要、RC造概要、配置図作図
第18回	配置計画等、配置図兼1階平面(1)	隣地境界線、柱、壁、家具、階段、エレベーターの作成
第19回	配置計画等、配置図兼1階平面(2)	寸法、外構と見直し
第20回	エスキースの進め方等、2階平面	エスキースの進め方、2階平面作図
第21回	立面図作図	立面図作図方法、作図
第22回	矩計図、断面図解説、、作図(1)	矩計図説明(躯体、寸法線)
第23回	矩計図、断面図解説、、作図(2)	矩計図(寸法、文字、室名)断面図(柱、壁、大梁、、開口部)
第24回	チャレンジ課題文読、エスキース	課題文読解、エスキース(ゾーニング)
第25回	エスキース	エスキース(柱、梁ラーメン構造仮定断面、開口部、外構)
第26回	配置計画等、配置図兼1階平面(1)	エスキースを基に配置図兼1階平面図作図(柱、壁、開口部)
第27回	配置計画等、配置図兼1階平面(2)	エスキースを基に配置図兼1階平面図作図(寸法、外構)
第28回	配置計画等、配置図兼1階平面(3)	エスキースを基に配置図兼1階平面図作図(仕上げ、見直し)
第29回	2階平面図(1)	2階平面図作図(柱、壁、開口部)
第30回	2階平面図(2)	2階平面図作図(寸法、見直し)
第31回	断面図(1)	断面図作図(柱、壁、大梁、開口部)
第32回	断面図(2)	断面図作図(文字、寸法、室名と見直し)

# 授 業 計 画

No.1

授業科目	建築法規Ⅱ		担当教員	勝 康雄	クラス	建築設計科2年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	この科目は、建物を計画する上で法規(特に建築基準法)を守らなければ設計できないことを理解する。その手段として、過去問題を通して、問題文と条文との関わりや、問題文と実際の建物との関わり等を説明し、建築基準法の理解を深め、実践的な法規の知識を学習する。 (建築法規Ⅳは特に集団規定を中心に学習する。)						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。 ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	60 %	課題	30 %	他	10 %
教科書	図解 やさしい建築法規 学芸出版 建築関係法令集			副教材および 参考文献		2級建築士学科Ⅱ建築法規テキスト I TC出版局 プリント	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス、共同住宅の容積率制限他(問47)	共同住宅の共用の階段・廊下部分の扱い
第2回	容積率制限総復習	容積率関係の緩和規定を中心に復習
第3回	建ぺい率制限概要	建築面積の算定、建ぺい率の算定
第4回	建ぺい率制限概要(問48)	建築面積の算定、建ぺい率の算定、許容建ぺい率の緩和
第5回	許容建築面積の算定(問49)	許容建ぺい率、許容建築面積、2以上の制限のある敷地
第6回	高さ制限概要	道路・隣地・北側斜線制限、日影規制、絶対高さ・高度地区等の制限
第7回	高さ制限Ⅱ(問50)	住居系で一番厳しい用途制限の第一種低層住居専用地域
第8回	高さ制限Ⅲ(問51)	道路制限(2つの道路に接する・建物が道路から後退)
第9回	高さ制限Ⅳ(問52)	道路斜線の緩和(適用距離)、天空率概要
第10回	高さ制限Ⅴ(問53)	日影規制概要、高さ制限全般
第11回	防火指定による構造制限Ⅰ(問54)	耐火・準耐火建築物の必要性(複合用途)
第12回	防火指定による構造制限Ⅱ(問55)	防火指定の違う二地域にまたがる場合の制限、防火壁
第13回	危害防止(問56)	仮囲い、クレーンの転倒防止、山留、落下物対策
第14回	仮設建築物の緩和(問57)(問58)	現場事務所に関わる緩和規定、建築基準法全般等
第15回	総復習	内装制限、避難施設、道路、用途地域、容積率、建ぺい率、高さ制限、防火制限等
第16回	期末試験	内容の理解度を試験

# 授 業 計 画

No.1

授業科目	構造力学Ⅱ		担当教員	亀田 無限	クラス	建築設計科2年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	この科目は、建築構造力学の基礎を学ぶことを目的とする。前半は2級建築施工管理技士対策として、問題を解けるようになること、後半は応力度、座屈、たわみについて学習する。学習範囲は、力学Ⅰ・Ⅱを学習することで、2級建築士試験の力学の範囲を網羅する。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	70 %	課題	10 %	他	20 %
教科書	わかる！建築構造力学 オーム社		副教材および参考文献		2級建築施工管理技士即戦問題集 配布プリント		

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス、施工管理試験対策-1	ガイダンス、過去問題の実施と解説-1
第2回	施工管理試験対策-2	過去問題の実施と解説-2
第3回	施工管理試験対策-3	過去問題の実施と解説-3
第4回	施工管理試験対策-4	過去問題の実施と解説-4
第5回	施工管理試験対策-5	過去問題の実施と解説-5
第6回	応力度-1	垂直応力度、せん断応力度
第7回	応力度-2	曲げ応力度
第8回	応力度-3	軸方向力と曲げモーメントが作用する場合の応力度
第9回	応力度-4	許容応力度
第10回	座屈-1	座屈長さ
第11回	座屈-2	弾性座屈荷重
第12回	たわみ-1	応力度、ひずみ
第13回	たわみ-2	はりの変形
第14回	テスト対策-1	演習問題
第15回	テスト対策-2	演習問題
第16回	期末試験	期末テストの実施



# 授 業 計 画

No.1

授業科目	建築一般構造Ⅱ		担当教員	宍倉 良太	クラス	建築設計科2年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	この科目は、建物を支える地盤及び基礎、建物に作用する地震や風の荷重について学習する。特に鉄筋コンクリートについては鉄筋とコンクリートの長所について理解できるようにする。尚、第1回～第4回までは、2級建築施工管理技士問題集の一般構造について学習する。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	70 %	課題	10 %	他	20 %
教科書	2級建築施工管理技士即戦問題集、やさしい建築一般構造			副教材および参考文献		配布プリント	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス、施工管理対策1	一般構造、地盤、基礎
第2回	施工管理対策2	木構造
第3回	施工管理対策3	鉄筋コンクリート、鉄骨造
第4回	施工管理対策4	荷重、
第5回	施工管理対策5	建築材料
第6回	コンクリートと鉄筋	コンクリートの特徴、コンクリートの強度
第7回	鉄筋コンクリート造の基礎知識	構造計画の注意事項
第8回	鉄筋コンクリート構造(1)	鉄筋の定着長さ各部の構造
第9回	鉄筋コンクリート構造(2)	主筋、あばら筋、つりあい鉄筋比
第10回	鉄筋コンクリート構造(3)	壁式コンクリート
第11回	鋼材	鋼材の特徴
第12回	鉄骨造の基礎知識	鉄骨造の特徴
第13回	溶接接合	突合せ溶接、すみ肉溶接、部分溶込み溶接
第14回	部材設計(1)	座屈と座屈長さ
第15回	部材設計(2)	各部の構造
第16回	期末試験	期末試験の実施

# 授 業 計 画

No.1

授業科目	インテリアエレメント	担当教員	湯浅 誠	クラス	建築設計科2年		
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	この科目では、建物の内部空間を構成する要素をじっくり学びます。大きく分けて、「インテリアを構成する要素」、「インテリアの色彩計画」、「インテリアの照明計画」、「寸法とモジュール」、「インテリアの構造と仕上げ」、「インテリアの材料」の6分野についての知識を習得します。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	60 %	課題	30 %	他	10 %
教科書	超図解で全部わかる インテリアデザイン入門			副教材および 参考文献		プリント	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス	科目説明、スケジュール確認
第2回	『インテリアを構成する要素』(1)	家具、インテリアアクセサリー
第3回	『インテリアを構成する要素』(2)	店舗の什器、住宅設備、照明器具、ウインドートリートメント
第4回	『インテリアの色彩計画』(1)	カラースキーム、色・素材・形、イメージスタイル、インテリアの歴史と様式
第5回	『インテリアの色彩計画』(2)	色が見えるしくみ、彩色の基本原理、色の表現方法、配色と感情効果
第6回	『インテリアの照明計画』(1)	DVD学習「ライティングデザイナー 内原 智史」
第7回	『インテリアの照明計画』(2)	照明の種類、光源の種類、色温度・配光・演色性
第8回	『寸法とモジュール』(1)	人体寸法と空間、さまざまな物の寸法
第9回	『寸法とモジュール』(2)	モジュール、家具の大きさ、空間の大きさ、ユニバーサルデザインの寸法
第10回	プレゼンテーション資料の作成	家具・照明配置、色彩の計画
第11回	『インテリアの構造と仕上げ』(1)	躯体の構造、床の下地・壁の下地・天井の下地
第12回	『インテリアの構造と仕上げ』(2)	建具の種類①～③
第13回	『インテリアの構造と仕上げ』(3)	床の仕上げ①～③、壁の仕上げ、天井仕上げ
第14回	『インテリアの材料』(1)	木材、木材の構造と性質、加工木材とその種類、塗装
第15回	『インテリアの材料』(2)	金属、プラスチック、ガラス、タイル、石材
第16回	期末試験	期末試験の実施

# 授 業 計 画

No.1

授業科目	リフォームスタイリスト	担当教員	宍倉 良太	クラス	建築設計科2年
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義
				単位数	2

授業概要	この科目では益々成熟するリフォーム市場での仕事の内容や仕組みを学びます。最終目標は「リフォームスタイリスト資格試験3級」に合格することです。施主様への意識、対応のポイント・各構造・設備などの今まで受講した教科の復習を含めた学習、また場所別、高齢者対応などのリフォーム等について過去に出題のある項目に重点を置き学習を進める。					
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。				
	評価割合	試験	70 %	課題	20 %	他
教科書	住宅リフォーム実務教本		副教材および参考文献		リフォームスタイリスト資格試験過去問題集	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス、リフォームのお客様への心構え	リフォーム事業は「サービス業」
第2回	成功するリフォームの接客方法	初訪問時のお客様への対応等
第3回	知らなければならぬリフォームの基礎知識	住宅の構造と工法、設備の基礎知識
第4回	最新のさまざまなリフォーム(1)	場所別リフォーム(外壁、屋根、玄関、リビング、キッチン)
第5回	最新のさまざまなリフォーム(2)	場所別リフォーム(浴室、洗面所、廊下、階段、収納)
第6回	最新のさまざまなリフォーム(3)	耐震、高齢化対応住宅、省エネ、太陽光発電リフォーム
第7回	リフォーム現場で今すぐ使える集客の方法	販売促進の基本等
第8回	マンションリフォーム現場施工のすべて	マンションリフォーム施工の基礎知識
第9回	雨漏り調査、クレームが発生した時に	屋根、外壁、サッシ、バルコニー
第10回	各法律知識	各法律過去出題箇所について
第11回	過去問題実施(1)	解答、答え合わせ、修正
第12回	過去問題実施(2)	解答、答え合わせ、修正
第13回	現場で役立つリフォームマニュアル1	相談～契約まで
第14回	現場で役立つリフォームマニュアル2	着工～アフターフォローまで
第15回	総復習	総復習、期末試験の説明
第16回	期末試験	期末試験の実施

# 授 業 計 画

No.1

授業科目	ショップデザイン		担当教員	湯浅 誠	クラス	建築設計科2年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	この科目は、ショップデザインの基礎知識を学び、その企画、設計デザインを実習する。具体的には、作品1として、自分のお気に入りのショップを調べプレゼンボードを作成し、発表する。作品2として、物販、飲食、サービス業の中から一つセレクトし実際にショップデザインを行いプレゼンボードの作成、発表を行う。主にインテリアデザインの観点から作品をまとめてもらう。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	0 %	課題	80 %	他	25 %
教科書	お店の解剖図鑑			副教材および参考文献		プリント	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス、オリエンテーション	スケジュール、学習内容、提出作品について説明
第2回	基礎知識-1	店舗(ショップ)の調査、企画、設計、プレゼンについて
第3回	基礎知識-2	店舗(ショップ)の分類、要素(エレメント)、素材(エレメント)について
第4回	作品1-1	作品1の出題;お気に入りのお店を紹介する
第5回	作品1-2	お気に入りのお店を紹介するプレゼン①
第6回	作品1-3	お気に入りのお店を紹介するプレゼン②
第7回	作品2-1	作品2の出題;オリジナルのショップデザイン
第8回	作品2-2	コンセプト、テーマ、エスキース等の作成
第9回	作品2-3	平面図作成
第10回	作品2-4	立面図作成
第11回	作品2-5	展開図作成
第12回	作品2-6	パース作成
第13回	作品2-7	店舗(ショップ)のロゴ作成
第14回	作品2-8	プレゼンボード作成
第15回	作品2-9	作品2のプレゼン①
第16回	作品2-10	作品2のプレゼン②

# 授 業 計 画

No.1

授業科目	卒業制作		担当教員	川名 和雄	クラス	建築設計科2年	
期別	後期	履修コマ数	3 コマ/週	授業形態	演習	単位数	3

授業概要	この科目は、建築を学習してきた事の集大成として位置づけられた科目である。今までの学習の成果を最大限に生かす事を期待する。また、社会人となった時の実学にも通ずる機会とも捉える。具体的には建築に対する熱さ、想い、真摯さ純粋さを持って、自分が制作したい作品に対峙し、自調自考の授業形態で自分の作品が実社会に通用するかを学習する。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	0 %	課題	95 %	他	5 %
教科書	なし			副教材および参考文献		建築卒業設計の手びき	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス・オリエンテーション	スケジュール、課題について、卒業制作の基本講義
第2回	計画	構造、法規の内容確認
第3回	敷地について	敷地図の作成
第4回	コンセプト1	コンセプトメイク1
第5回	コンセプト2	コンセプトメイク2
第6回	エスキース 1	フリーハンドにてプラン作成-1
第7回	エスキース 2	フリーハンドにてプラン作成-2
第8回	エスキース 3	フリーハンドにてプラン作成-3
第9回	エスキース 4	フリーハンドにてプラン作成-4
第10回	エスキース 5	フリーハンドにてプラン作成-5
第11回	エスキース 6	フリーハンドにてプラン作成-6
第12回	中間提出	作成したプランの確認
第13回	エスキース 7	フリーハンドにてプランの修正
第14回	エスキース 8	フリーハンドにてプランの修正
第15回	1階配置平面図作成 1	配置平面図の作成 1
第16回	1階配置平面図作成 2	配置平面図の作成 2

	講 義 計 画	実 施 細 目
第17回	1階配置平面図 3	配置平面図の作成 3
第18回	1階配置平面図 4	配置平面図の作成 4
第19回	2階平面図作成 1	2階平面図の作成 1
第20回	2階平面図作成 2	2階平面図の作成 2
第21回	2階平面図作成 3	2階平面図の作成 3
第22回	その他の階平面図 1	その他の階平面図の作成 1
第23回	その他の階平面図 2	その他の階平面図の作成 2
第24回	X方向断面図 1	X方向断面図の作成 1
第25回	X方向断面図 2	X方向断面図の作成 2
第26回	Y方向断面図 1	Y方向断面図の作成 1
第27回	Y方向断面図 2	Y方向断面図の作成 2
第28回	立面図の作成 1	南面立面図の作成
第29回	立面図の作成 2	南面立面図の作成
第30回	立面図の作成 3	東面立面図の作成
第31回	立面図の作成 4	東面立面図の作成
第32回	模型制作 1	スチレンボードにて模型制作 1
第33回	模型制作 2	スチレンボードにて模型制作 2
第34回	模型制作 3	スチレンボードにて模型制作 3
第35回	模型制作 4	スチレンボードにて模型制作 4
第36回	模型制作 5	スチレンボードにて模型制作 5
第37回	模型制作 6	スチレンボードにて模型制作 6
第38回	模型制作 7	スチレンボードにて模型制作 7
第39回	模型制作 8	スチレンボードにて模型制作 8
第40回	内観パース作成 1	内観パースの作成 1 (スケッチアップ又は手描きにて)
第41回	内観パース作成 2	内観パースの作成 2 (スケッチアップ又は手描きにて)
第42回	内観パース作成 3	内観パースの作成 3 (スケッチアップ又は手描きにて)
第43回	内観パース作成 4	内観パースの作成 4 (スケッチアップ又は手描きにて)
第44回	プレゼンボード作成 1	プレゼンボードの作成 1
第45回	プレゼンボード作成 2	プレゼンボードの作成 2
第46回	プレゼンボード作成 3	プレゼンボードの作成 3
第47回	プレゼンボード作成 4	プレゼンボードの作成 4
第48回	プレゼンボード作成 5	図面の整合性、発表時の指摘事項等の手直し及びパネル作成 6

# 授 業 計 画

No.1

授業科目	建築士実技対策	担当教員	生沼 秀樹	クラス	建築設計科2年
期別	後期	履修コマ数	2 コマ/週	授業形態	演習
					単位数
					2

授業概要	この科目は、二級建築士試験の設計製図試験対策を行う。授業では、まずRC造、次に木造を学習する。特に、木造とRC造の類似点、及び相違点に着目して学習していく。また、設計課題を的確に読み取った上で、設計力と製図力を身につける。					
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。				
	評価割合	試験	0 %	課題	70 %	他
教科書	2級建築士試験設計製図テキスト(総合資格学院編)		副教材および参考文献		配布プリント	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス、試験概要等、(木造)	科目概要、試験概要、木造概要、配置図作図
第2回	配置計画等、配置図兼1階平面図(1)	配置計画、平面計画隣地境界、外壁階段、家具の作成
第3回	配置計画等、配置図兼1階平面図(2)	配置計画、平面計画寸法、植栽、筋かい、凡例、室名の作成
第4回	配置計画等、配置図兼1階平面図(3)	配置計画、平面計画、配置図兼1階平面図作成と見直し
第5回	エスキースの進め方等、2階平面	エスキースの進め方、2階平面図作図
第6回	立面図作図	立面図作図方法、作図
第7回	矩計図、断面図解説、作図(1)	矩計図説明、断面図作図方法、柱の中心線、各高さ、屋根の作図
第8回	矩計図、断面図解説、作図(2)	矩計図説明、断面図作図方法、サッシ廻り、軒先、仕上げの作図
第9回	矩計図、断面図解説、作図(3)	矩計図説明、断面図作図方法、寸法、文字の記入と作図
第10回	チャレンジ課題1	課題文読解、エスキース(ゾーニング、柱、開口部、家具、外構)
第11回	エスキース	エスキースを基に配置図兼1階平面図外壁階段、家具の作成
第12回	配置計画等、配置図兼1階平面	エスキースを基に配置図兼1階平面図植栽、筋かい、凡例、室名
第13回	配置計画等、配置図兼1階平面	エスキースを基に配置図兼1階平面図作図と見直し
第14回	2階平面図	2階平面図作図
第15回	断面図	断面図作図
第16回	矩計図	矩図作図

	講義計画	実施細目
第17回	ガイダンス、試験概要等、(RC造)	科目概要、試験概要、RC造概要、配置図作図
第18回	配置計画等、配置図兼1階平面(1)	隣地境界線、柱、壁、家具、階段、エレベーターの作成
第19回	配置計画等、配置図兼1階平面(2)	寸法、外構と見直し
第20回	エスキースの進め方等、2階平面	エスキースの進め方、2階平面作図
第21回	立面図作図	立面図作図方法、作図
第22回	矩計図、断面図解説、作図(1)	矩計図説明(躯体、寸法線)
第23回	矩計図、断面図解説、作図(2)	矩計図(寸法、文字、室名)断面図(柱、壁、大梁、開口部)
第24回	チャレンジ課題文読、エスキース	課題文読解、エスキース(ゾーニング)
第25回	エスキース	エスキース(柱、梁ラーメン構造仮定断面、開口部、外構)
第26回	配置計画等、配置図兼1階平面(1)	エスキースを基に配置図兼1階平面図作図(柱、壁、開口部)
第27回	配置計画等、配置図兼1階平面(2)	エスキースを基に配置図兼1階平面図作図(寸法、外構)
第28回	配置計画等、配置図兼1階平面(3)	エスキースを基に配置図兼1階平面図作図(仕上げ、見直し)
第29回	2階平面図(1)	2階平面図作図(柱、壁、開口部)
第30回	2階平面図(2)	2階平面図作図(寸法、見直し)
第31回	断面図(1)	断面図作図(柱、壁、大梁、開口部)
第32回	断面図(2)	断面図作図(文字、寸法、室名と見直し)



# 授 業 計 画

No.1

授業科目	パースペクティブ		担当教員	木村 裕安	クラス	建築設計科2年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	この科目はスケッチ力及びデッサン力の向上を図り、建築を立体的に考える力を身につけると共に、現場で役立つ内外観パースの作図力を養う。基本的なパースの種類や考え方、作図法をだけではなく建築物に付随する家具、備品等も表現できるようにする。最終的には1消点、2消点のパース図法を作成出来る様にする。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	0 %	課題	50 %	他	25 %
教科書	なし			副教材および参考文献		建築のパースペクティブ 勘で描くパースのコツ	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	パースの概要・評価のポイント	3面図からの立体図練習・建物を立体的に見る
第2回	陰影のつけ方・考え方 1	グラデーション&基本図形。建物の陰影(立面図に着色)
第3回	アイソメ練習	部屋のアイソメ図、家具のアイソメ練習
第4回	添景練習(着色の種類)	人物と樹木の練習
第5回	分割法 1	和室と中庭
第6回	一点透視—基礎	パースグリッドを利用したの1消点パース
第7回	一点透視—応用1	パースグリッドを自分で作成したの1消点パース
第8回	一点透視—応用2	色々な部屋形状の1消点パース
第9回	一点透視—応用3	和室8畳の1消点パース
第10回	二点透視—基礎	室内パース(拡大法)
第11回	二点透視—応用1	外観パース(RC2階建て・パラペット)
第12回	二点透視—応用2	外観パース(平屋切妻+外構)
第13回	二点透視—応用3	外観パース(下屋つき二階建て+寄棟屋根)
第14回	二点透視—応用4	外観パース(下屋つき二階建て+寄棟屋根)
第15回	二点透視—応用5	外観パース(二階建て+最終課題)
第16回	二点透視—応用6	外観パース(二階建て+最終課題)

# 授 業 計 画

No.1

授業科目	家具デザイン		担当教員	勝 康雄	クラス	建築設計科2年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	<p>この科目では、インテリアを構成する要素として極めて重要な位置を占める『家具』のデザインについて学びます。『家具』には、「箱物家具」(収納家具)・「台物家具」(テーブル、机)、「脚物家具」(いす、ソファ、ベッド)があります。それぞれの機能・特徴・材料などの講義をした後に、一度見本図を写図して家具製図法を学びます。次に、それぞれの家具について、一定の与条件に対して各自でデザインをします。</p>						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	0 %	課題	90 %	他	10 %
教科書	家具のデザインと設計			副教材および参考文献		自作プリントなど	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス、家具のデザイン、DVD学習	科目説明、スケジュール確認、DVD学習「無印良品と深澤 直人」
第2回	『収納家具』のデザイン(1)	「箱物家具」(収納家具)のデザイン技法講義
第3回	『収納家具』のデザイン(2)	子供室の本棚(オープン)の製図練習(見本図の写図)
第4回	『収納家具』のデザイン(3)	「居間のリビングボードのデザイン」① エスキース
第5回	『収納家具』のデザイン(4)	「居間のリビングボードのデザイン」② 設計・製図
第6回	『収納家具』のデザイン(5)	「居間のリビングボードのデザイン」③ 設計・製図
第7回	『センターテーブル』のデザイン(1)	「台物家具」(テーブル、机など)のデザイン技法講義
第8回	『センターテーブル』のデザイン(2)	リビングルームのセンターテーブルの製図練習(見本図の写図)
第9回	『センターテーブル』のデザイン(3)	「リビングルームのセンターテーブルのデザイン」① エスキース
第10回	『センターテーブル』のデザイン(4)	「リビングルームのセンターテーブルのデザイン」② 設計・製図
第11回	『センターテーブル』のデザイン(5)	「リビングルームのセンターテーブルのデザイン」③ 設計・製図
第12回	『ソファ』のデザイン(1)	「脚物家具」(いす、ソファ、ベッドなど)のデザイン技法講義
第13回	『ソファ』のデザイン(2)	リビングルームのソファの製図練習(見本図の写図)
第14回	『ソファ』のデザイン(3)	「リビングルームのソファのデザイン」① エスキース
第15回	『ソファ』のデザイン(4)	「リビングルームのソファのデザイン」② 設計・製図
第16回	『ソファ』のデザイン(5)	「リビングルームのソファのデザイン」③ 設計・製図